

就農に関する相談を受け付けています



浪江町農林水産課では、町内での新規就農に関する相談を随時受け付けています。就農前の研修先や各種支援制度についてもご紹介することができます。就農イベントにも積極的に参加していますので、ぜひお気軽にお問い合わせください！

パンフレット  
ダウンロードはこちらお問い合わせ／  
浪江町農林水産課  
TEL: 0240-34-0245浪江フラワープロジェクトの  
最新情報をホームページで！

これまでの花通信やアーカイブ動画を公開中！

<https://www.namie-flower.jp>Facebookも  
チェック

浪江町 農林水産課

〒979-1592 福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田7-2

TEL: 0240-34-0245

<https://www.town.namie.fukushima.jp>

## なみえ花通信

浪江の花作りと農業の最新情報をお届け！







# 冬から春の

## 息吹を感じる浪江町より

今年の冬は寒暖差の大きかった福島県浜通り地方。寒さの峠を越え  
ると一気に暖かくなり、春の気配がすぐそこまで来ています。

2月には、請戸地区の茗野(くさの)神社において、新型コロナウイルス  
の影響で中止していた「安波祭(あんばまつり)」が3年ぶりに開催  
されました。約三百年の歴史を持つこの伝統行事では、神楽や「田  
植踊り」が奉納され、浪江町の豊漁・豊作、復興の祈願がされました。  
また浪江町の花農家さんでは、冬～春にかけて人気の“ストック”出荷  
の真っ盛り。ストックには「永遠の恋、愛情の絆、求愛」などの花言葉  
と共に「未来を見つめる」という意味もあるそうです。

浪江町の花作りは、これからどんな未来を見せてくれるのでしょう。  
「なみえ花通信」では、花のニュースはもちろん、浪江町の新しい農業  
における明るいニュースもお届けしていきます。



トルコギキョウ含め、初年度出荷した花は市場で高い評価を受けました



「1年目の失敗は、2年目に向けてのプラスになる」と語る渡瀬さんご夫妻



約三百年の歴史を持つ「安波祭(あんばまつり)」では「田植え踊り」が奉納されました



Jin ふる～るさんのハウスでは色とりどり5色の“ストック”が出荷されています。



## “なみえ花工房”独立就農 から1年を振り返って

素人からはじめた花作り。渡瀬さんご夫妻の独立就農1年を振り返って  
頂きました。「初出荷したトルコギキョウが市場で高値がついたので、  
トルコギキョウに関してはとても自信ができました。他の花も需要が高かっ  
たので“なみえ花工房”は高品質の花だというブランディングが出来たのか  
な?と思います。ただ上手くいった事ばかりではなく失敗も多かったです。  
逆に1年目で多く失敗できたのは、2年目に向けて対策ができるので良  
かったと思いますよ」と前向きに語る渡瀬さんご夫妻。実際、花市場での  
評価は高く“なみえ花工房”の花作りを視察した、フラワーコーディネー  
ター近美豪人氏(北京花博2019 福島県ブースプロデューサー)は「とても  
丁寧で気を使った花作りをしていて、花は茎が太く水落ちしにくいお花で  
高品質。長持ちさせるフラワーアレンジメントには最適だと思いました」と  
語ってくれました。”なみえ花工房”さんも、先輩花農家の皆さんと同様、  
浪江町の花作りを牽引する存在になってきているようです。





## “馬の堆肥”で育てる、 “サムライガーリック”誕生

福島県相双地区の「相馬野馬追」をご存じですか?約千年の歴史を持ち、甲冑を着た騎馬武者が町を闊歩する、国の重要無形民俗文化財に指定されている伝統行事です。浪江町幾世橋地区で“にんにく”の栽培を始めた吉田さやかさんは、家族が相馬野馬追に参加していたので、子供の頃から馬が身近にいました。その捨ててしまう堆肥を見て思いついたのが、“馬の堆肥”による土壌改良です。“馬の堆肥”は、ほとんどが有機物で安心安全。ふかふかで水捌けが良く、しかも保水性・保肥力もあるという優れたもの。この地域ならではの長を活かして栽培された“にんにく”を、侍が作った“にんにく”『サムライガーリック』としてブランド化、販売を開始しました。濃厚な味わいで評判も上々。吉田さやかさんは、「実家が元々農業をやっていたこともあり、浪江町の農業を盛り上げていきたいし広めていきたい。そのために今後は農泊などにもチャレンジしていきたいです。」と、新たな目標にも向かっています。



「浪江町の農家さんは土作りがとても上手いと思います」と語っていました



「浪江町の生産者と繋がれた事は宝物、新しい可能性を感じる」と語る萩シェフ



「まだ就農2年目ですが様々な人に助けられてここまで来ました」と語る吉田さん



“馬の堆肥”を使って育てた『サムライガーリック』は濃厚な味わいが特長



## 一流シェフが見た、 浪江町の農産物はいかに!

2018年・第8回太平洋島サミットにて各首脳に料理をふるまった、福島県を代表する料理人の一人、萩春朋シェフ(いわき市HAGIフランス料理店)が浪江町の農産物生産者を訪問しました。「究極のおいしさはその土地の土から生まれる」と言う萩シェフ。「浪江町の実産者の方々のお作りはとてとても上手いです。だからこんなに美味しい農産物ができるのだと関心しました」。特に注目したのは、浪江町幾世橋地区 吉田さやかさんの“馬の堆肥”の“にんにく”作り。「馬の堆肥は堆肥の中でもダイヤモンドです。ここで育った“にんにく”の味に惚れて早速注文しましたよ」と自身の料理への可能性を見出したようです。「本当に良いものを作りたいという思いが浪江町の実産者さん達から伝わってきました。だから浪江町の実産者さんと繋がれた事は本当に宝物です。今後も浪江町産の農産物には期待しています」と語る萩シェフ。浪江町の農産物のクオリティーの高さに驚きを隠せなかったそうです。

## What's new? 浪江の旬な情報をお届け!

What's new

01

### いよいよ新規独立就農です!



関口さん(左)と、独立就農の先輩“なみえ花工房”渡瀬夫妻

雑誌編集者から花作りに魅力を感じ、花農家への新規独立就農を目指し、Jin ふる～るさんで1年間、研修を受けていた関口卓磨さん。今春の独立へ向け準備を進めています。独立就農の先輩“なみえ花工房”の渡瀬夫妻と共に、花作りの新規就農者に注目の浪江町です。

What's new

02

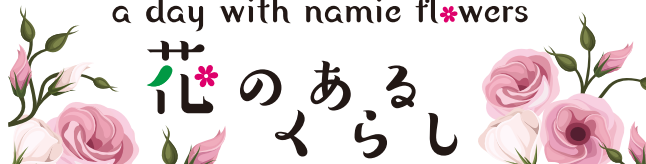
### 世界の駐在大使を浪江の花がお出迎え!



昨年末、駐日外交団を対象とした福島県と外務省共催の「福島復興視察ツアー」が実施されました。「ふくしまの今」を、自国への発信力をもつ駐日大使などに直接感じてもらう事を目的としたツアー。宿泊先の土湯温泉 山水荘では、福島県各産地から集められた花で作られたアレンジメントでおもてなしがされ、浪江町からは“なみえ花工房”さんの「金魚草」がアレンジを彩りました。

世界の人々へ向けた花のおもてなし、浪江町の花作り農家さんの想いも届いたようです。

a day with namie flowers



今年度のなみえ花通信では、季節に合わせて“浪江町の花”を使ったフラワーアレンジメントをご紹介します。春夏秋冬さまざまな楽しみを!ご自宅でもトライしてみてください!



### テーマ“ウキウキの春よ来い”

冬～春にかけて人気の切花「ストック」は、軽やかな色合いが魅力です。そこでより春めいたウキウキ感を出すために、直線的なラインフラワー「ストック」に柔らかな曲線を付けてみましょう。アレンジメントが軽やかに動き出したようですね。花材：ストック、コデマリ、ユウカリ



Check!

直線的で茎の太い「ストック」には、曲線を意識した花材を組み合わせ



### Point! 葉を整理しよう!

冬春のお花は新芽なので、葉の方に栄養がとられやすく、アレンジした時に、花持ちが悪くなる場合があります。そこで思い切って葉を整理して、花に栄養が行くようにするのが長持ちの秘訣です!

講師：フラワーコーディネーター ちかみ たけと 近美豪人

北京花博2019 福島県ブースプロデューサー。  
有限会社 花のチカミ代表。日花協全国大会優勝、  
JFTD Japan cup準優勝、World cup日本代表  
選考会出場など、数々の大会で入賞を果たす。

